

二ノ瀬バイパス事業継続に向けて!

二ノ瀬バイパス かわら版

立春とは申しませんが、まだ寒さ厳しき日が続いています。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

二ノ瀬バイパスについては、平成27年3月25日に約2.1kmの区間について開通しましたが、残り約300mが未着工の状態です。今後も未着工区間の早期着工に向けて努力してまいりますので、引き続き、御理解と御協力の程、よろしくお願いいたします。

今回のかわら版では、昨年度の取組や野中・二ノ瀬・鞍馬バイパス検討委員会（以下「バイパス検討委員会」という。）について紹介させていただきます。

バイパス検討委員会を開催しました。

其の十三

去る平成29年11月21日（火）、バイパス検討委員会を開催しました。

バイパス検討委員会は、地元自治会の代表の皆様と事業者（京都市）をメンバーに構成されています。また、二ノ瀬バイパスは京都市の道路事業としては、初めてのPI（パブリック・インボルブメント）方式*を採用しており、今回で21回目の開催となりました。

今回のバイパス検討委員会では、二ノ瀬バイパスの現状や今後の見通しについて、活発な御議論になり、貴重な御意見をいただきました。下記はバイパス検討委員会の一部内容を掲載します。



野中・二ノ瀬・鞍馬バイパス委員会の様子

*PI方式とは、構想段階から情報公開・提供を行い、計画策定段階から関係する住民の意見を反映させて行う事業手法です。

第21回 野中・二ノ瀬・鞍馬バイパス検討委員会の一部内容

（委員）二ノ瀬バイパスの未整備区間である300mに関しては、早期実現されるように要望します。

（委員）二ノ瀬トンネル内の照明が暗いと思う。

→（京都市）トンネル規模に応じて、設置基準で照明の設置間隔や明るさが決まっています。

（委員）野中、鞍馬バイパスの計画は残っているのか。

→（京都市）計画は残っております。しかし、現在、防災・減災対策を重点的に進めており、他事業の事業進捗の平準化（後年度へ先送り）や一時休止、新規着手の見送りを行っている中、事業化には至っていません。

二ノ瀬バイパスが事業継続決定！ ～公共事業評価委員会で再評価を実施～

京都市では、公共事業の効率性及び実施過程の透明性の一層の向上を図ることを目的として、事業の各段階（事前、事中、事後）において、公共事業評価（新規採択時評価・再評価・事後評価）を実施しています。このうち、再評価、事後評価に当たっては、客観性及び透明性を確保する観点から、学識経験者等からなる第三者機関「京都市公共事業評価委員会」で審議していただき、当委員会の意見を踏まえて、本市の対応方針を決定しています。

二ノ瀬バイパスについては、平成28年度に「事業採択後10年間を経過した時点で継続中の路線」に該当していたため、再評価を実施しました。

二ノ瀬トンネルは開通しましたが、未着工区間についても見通しの悪い箇所や道路幅員が狭い箇所の解消が必要であるため、「事業継続」という対応方針となりました。

一方、本市の道路整備事業は橋りょう対策をはじめとする防災・減災対策に必要となる財源を確保するため、事業進捗の平準化（後年度へ先送り）や一時休止、新規着手の見送りを行っております。二ノ瀬バイパスの未着工区間についても早期の着手は難しく、皆様に御不便をおかけしますが、何卒、御理解、御協力の程、よろしくお願いいたします。

※公共事業評価のページは下記のとおりです。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000207078.html>

ご意見、ご質問はこちらまで

『二ノ瀬バイパスかわら版（其の十三）』では、二ノ瀬バイパス昨年度の取組やバイパス検討委員会、今後の見通しをお伝えしました。本誌の内容について、御不明な点、又は事業に関する御意見、御質問などございましたら、下記までお寄せください！！

お問合せ先

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地

京都市建設局道路建設部道路建設課

事業担当 馬場、宅和

電話番号：075-222-3577 FAX：075-213-0559



この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！



京都市建設局道路建設部道路建設課

ホームページ：<http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/soshiki/10-3-2-0-0.html>

同じです あなたとわたしの 大切さ

平成30年2月 京都市印刷物第294834号